

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,342,292,878	流動負債	901,643,451
現金及び預金	409,819,777	支払手形	34,462,832
受取手形	25,658,936	買掛金	659,248,331
売掛金	497,095,638	未払金	67,972,926
原材料	10,926,060	未払費用	88,410,984
仕掛品	333,279,215	未払法人税等	23,164,720
前渡金	55,230,000	前受金	24,957,100
前払費用	4,563,628	その他	3,426,558
未収入金	2,312,200		
従業員関係短期貸付金	4,086,288		
貸倒引当金	△ 678,864		
固定資産	125,319,027	固定負債	385,099,259
有形固定資産	75,930,374	退職給付引当金	385,099,259
建物	5,281,414		
機械及び装置	66,353,172		
工具、器具及び備品	4,295,788		
無形固定資産	12,328,653	負債合計	1,286,742,710
ソフトウェア	11,410,685	(純資産の部)	
その他	917,968	株主資本	180,869,195
投資その他の資産	37,060,000	資本金	100,000,000
繰延税金資産	37,000,000	利益剰余金	80,869,195
その他	3,514,581	その他利益剰余金	80,869,195
貸倒引当金	△ 3,454,581		
資産合計	1,467,611,905	純資産合計	180,869,195
		負債純資産合計	1,467,611,905

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 原材料

移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

② 仕掛品

個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物、建物附属設備	6年～18年
機械装置	3年～14年
工具器具備品	2年～15年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

ソフトウェア	5年
--------	----

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、従業員退職手当金規定に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、顧客の検収時点において、顧客が当該商品又は製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、検収時点で収益を認識しております。部品等で検収が行われない場合は、出荷基準を採用しております。

費用は、発生主義により収益費用対応原則に基づいて計上しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

II 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	125,819,434 円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	181,204,662 円
長期金銭債権	－ 円
短期金銭債務	38,064,443 円
長期金銭債務	－ 円

III 損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	1,075,945,912 円
仕入高	64,397,763 円
営業取引以外による取引高	－ 円

IV 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数	
普通株式	200,000 株

V 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金の否認、未払賞与の否認等であります。